



笹賀の世帯数・人口	
世帯数	4,571 世帯
人口	10,835 人
男	5,432 人
女	5,403 人
(令和2.9.1 現在)	

今町会 収穫体験



毎年恒例の笹賀今農地保全組合による、トウモロコシとジャガイモの収穫が8月1日に行われました。例年になく長雨で二度の延期となっていました。久しぶりの青空の下、

町内の児童13人とその保護者たちが参加し収穫を楽しみました。

本来ならば、子どもたちも一緒に春の種まきや苗の植え付けを行っていましたが、今



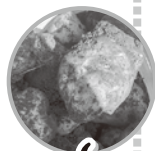
年は新型コロナウイルスの影響で参加を見合わせたため収穫のみの体験となりました。子どもたちは自分で収穫したトウモロコシやジャガイモを手嬉しそうに笑顔を見せていました。

親子で参加した菅野小学校今地区PTA会

長の熊谷美香さんは、「今年子どもたちの行事が少なくなっている中、こうして収穫体験を楽しめる環境がとてもありがたいです。自分で採ったものを調理して食べることは食育にもなるので、これからも続けてほしいと思います」と話しました。

10月にはサツマイモや黒豆の収穫も予定しているそうです。

収穫体験への想い



笹賀今農地保全組合は平成26年9月に発足、農地維持活動を目的に農林水産省多面的機能支払交付金を受けて活動しています。

遊休農地の管理や有効活用の中で、子どもたちにも農業



に親しんでほしいとの想いで、平成27年から収穫体験などの取り組みを始めました。

同組合代表の伊藤隆さんは、「地元の農地が景観を損なうことなく未来へと受け継がれてほしい。それには次世代を担う子どもたち、そして農業離れが進む親の世代にも農業に興味をもってもらい、地産地消の素晴らしさを伝えていきたい」と話しました。

同組合発足当時は4人でスタートし、現在は8人に増え活動を続けています。各自の農地もあるため活動には苦労も多いそうですが、これからも可能な限り続けていきたい、と意欲をみせました。

スポーツ大会結果

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度の「西南ブロック球技大会」は中止の判断となりました。

西南ブロック球技大会は、笹賀・神林・今井の3地区の親睦と、市長杯争奪球技大会の予選を兼ねて毎年行われています。今年度は、市長杯および市民体育大会についても中止が決定しています。



公民館報バックナンバーや公民館情報は松本市公式HPでもご覧いただけます!

笹賀公民館



で検索してください!

右記のQRコードを読み取るだけでも簡単にアクセスできます♪



『未来…明日に向かって』



岩垂 知咲
松本深志高校弓道部

新型コロナウイルスの影響で学校が休校になり、部活動も休止など制限を受けました。何よりも、子どもたちが目指していた大会が中止になってしまい、目標ややる気を失ってしまふことが懸念されます。そこで、代替大会が企画されるなどの対策が取られました。

実際に子どもたちはどのように受け止めたのでしょうか？中高校生にその心の内を聞いてみました。

岩垂 広也

松本工業高校野球部

部活ができなかったことは本当に悲しかったですが、県の代替大会があり、みんなまで野球ができて、それに向けて頑張ってきたです。

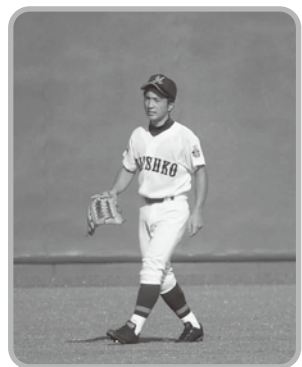
小学一年生からずっと野球をしてきましたが、これで部活から離れます。父には送迎を母には朝早くからお弁当を作ってもらい、野球をやらせてもらえたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



岩垂 未来子

菅野中学校女子バレーボール部

部活ができなくなってしまう、今までの練習は無駄だったのではないかとこのまま終わるのは嫌だな、と思いました。でも、代替の大会があることになり、みんな最後まで試合ができ、ちゃんと締めくくることができてよかったです。



その感謝の気持ちと、これから頑張る後輩たちのためにも、野球には何かしらの形でずっと関わっていききたいです。

小松 威仁

菅野中学校吹奏楽部

部活ができず、大会が近いのに大丈夫なのだろうか？と思いました。

文化部は運動部のように代替大会はありません。三年生最後の大会、みんなの輪で頑張ろうと思っていたので悔しいです。

しかし須賀野祭(文化祭)で、このメンバーでの最初で最後の演奏があります。須賀野祭に向けて精いっぱい演奏したいです。



さんぽみち

娘が高校で始めた弓道。嬉しそうに週末も毎日学校へ行き、家でもゴムの弓で練習していました。母は、3年生の大会では、盛大に応援するつもりでした。

弓道の応援は静かです。当たった時のみ、「よし」と一言。そして拍手。名前も呼べず、「頑張れ！」のような声援は送れません。

2年生秋に出た松本城大会では準優勝し、仲間も上達していて、上り調子でした。総体では、たくさん当てる、たくさん「よし！」と言えたはずでした。

ところが、コロナの影響で満足に練習できなくなり、代替大会では保護者の観戦は許されませんでした。弓を引く姿を見たのは、一人自主練習をしていた時が最後になってしまいました。

本人は、進学しても続けるつもりです。仲間と一緒に、数年後長野県で開催予定の国体にも出たいと言います。それだけ好きなことを見つけられて良かったのかな。この先、再び、勇姿を見られると信じています。

「よし！」

